

ナマステ！

前号に引き続き、ここでも東ネパールの出張の様子をお伝えします。

1. ボランティアによる思春期リプロの野外劇

前回お伝えした医療クリニックのある学校にて、ネパール家族計画協会（Family Planning Association of Nepal : FPAN）のユースボランティア（彼らは同時にピアエドゥケーターでもある）10人が、ストリートドラマ、いわゆる野外劇を披露してくれました。この演劇の企画、準備、実演も UNFPA の支援の元に行われました。当劇には、思春期リプロの要素が多く盛り込まれていました（例えば少女売買、低年齢妊娠、HIV/エイズなど）。学校の生徒だけでなく、近所の人々も見物にやって来たので、舞台の周りは大きな人だかりができました。大体のあらすじは次の通り；

とあるインド国境に近い小さな村に住んでいる少女2人が、近くへ草刈りに出かけたところ、カトマンズの都会からひょっこりやってきた男の人に出くわしました。彼は、「カトマンズと一緒に来たら、映画女優にしてあげる。そうすれば君たちも大金持ちになれるよ」と誘い掛けました。もちろんこれは嘘で、実は彼はインドへ少女売買をしているブローカーでした。少女達は、男の誘いを断りましたが、おそらく男性として惹かれてしまったようです。

数ヵ月後、少女達は自分たちが妊娠していることに気がつきました。相手はあのブローカーでした。低年齢での妊娠ということもあってか、体調を壊してしまいました。加えて、ブローカーが HIV 陽性でもあったので、感染した可能性もあります。



ある日、FPAN の医療スタッフがこの村を訪れ、ユースフレンドリークリニックの存在を伝えました。スタッフは、「このクリニックに来れば妊娠時の健康問題、性感染症、HIV 検査、その他性に関する悩みなどの相談を受けることができる」と村の人々に伝えました。



妊娠した少女二人のうち一人はこのクリニックを訪問することを決意します。ここで適切な治療およびカウンセリングを受けることができ、結果的に彼女は回復しました。しかし、もう一方の少女は、どの医療機関に行くことも治療を受けることも拒否したため、最終的に妊娠合併症を引き起こし死亡してしまいました。

最後に、FPAN 医療スタッフがリプロダクティブヘルスに対する認知・理解の重要性を強く訴え、この劇は幕を閉じました。

いかがでしたでしょうか？細かいところを抜きにすれば、わかりやすいストーリーになっていると思います。また、結構皆さん良い役者でした。このような活動を地道に続けていくことが、本来の持続可能な活動になると思います。

2. 非就学少女および少年を対象としたライフスキル・リプロダクティブヘルス教育

私は直接関与していませんが、同じく UNFPA が支援している「非就学少女および少年を対象としたライフスキル・リプロダクティブヘルス教育」プログラムも見学させていただきました。日常生活における多種多様な問題や要求に的確に対応できるようになることを目的としていますが、同様に性に関して青少年が直面する問題にも的確に対応できることを目的としています。

非就学少女に対する教育プログラムは、郡の女性開発事務所が担当しています。非就学少年に対するプログラムは



それに倣う形でローカル NGO が担当しています。どちらも、最初に指導者を養成し、その指導者が自分たちの地域の人々に対してライフスキル・リプロダクティブヘルス教育を行うという方式を取っています。主にダリット（インドやネパールのカースト制度の中で「アンタッチャブル」（不可触賤民）と呼ばれ、低いカーストとされる人々）のいる地域を対象にこのプログラムを実施しています。

私が見学させてもらったクラスでは、参加者のうち約 10%しか学校に通った経験が無く、しかも小学校低学年を終了する前に皆ドロップアウトしてしまったそうです。そのため、ほぼすべての参加者が読み書きができないという状況でした。

日本ではなかなかイメージが湧かないと思いますが、ネパールのカースト制度はインドのそれと同じく生活に深く根付いています。加えて、ネパールのカーストは民族と結びついているので、それが問題をさらに複雑にしています。

このようなカースト制度は、UNFPA をはじめ国連のプログラムを行う上で大きな障壁となっています。

プログラム実施だけでなく、ネパールで働くネパール人の国連スタッフも、無意識に（習慣的／潜在的に）「自分たちは彼らとは違う部類の人間だ」と捉えています。口では「低カーストの人々の生活向上を」と言っているのですが…。



3. <<番外編>>ポカラ訪問

少し前の話になりますが、10月下旬にネパールの観光地でもあるポカラに行って来ました。ここはカトマンズよりも標高が低いため、比較的温暖です（しかし夏は暑い）。

ここは何が有名かというと、湖とアンナプルナ（ヒマラヤ山群の一つ）です。また、のんびりするにはもってこいの場所でした。空気もきれいだし、山もきれいだし、ほんとうに言うこと無しでした。



ポカラのシンボル、マチャプチャレ(6993m)。マチャプチャレとは「魚のしっぽ」という意味。標高は他のアンナプルナ山群に比べて低いですが、手前にあるため高く見えるのです(写真左)



フェワ湖：ポカラのもう一つのシンボル？



では、次回をお楽しみに！次はいつになるかな？

飛田紫峰（Youth Development Officer）